



特集

・自動車利用に、脱炭素化の波を！

川崎市 環境情報

検索

No.608

お知らせ

## 環境情報はリニューアルします



環境情報は、609号（令和5年5月発行）から、ホームページ上でご覧いただける、web版として発行します。詳しくは市ホームページをご覧ください。



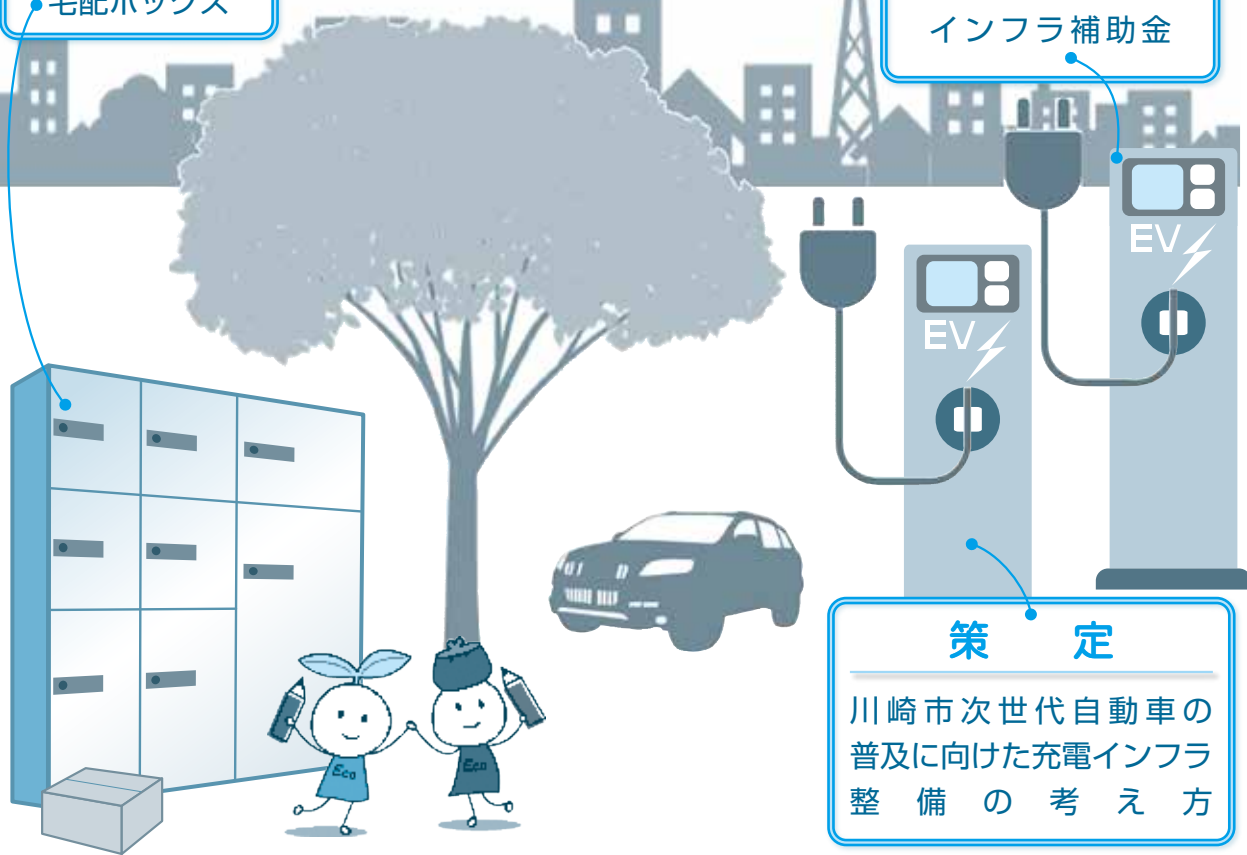
# 自動車利用に、脱炭素化の波を！

## 設置

宅配ボックス

## 創設

共同住宅向け  
EV用充電  
インフラ補助金



## 策定

川崎市次世代自動車の普及に向けた充電インフラ整備の考え方

本市のCO<sub>2</sub>排出量は政令市最大であり、運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量のうち、約80%が自動車由来となっています。2050年の脱炭素社会の実現を目指し、2013年に123万トンであった運輸部門のCO<sub>2</sub>を、まずは2030年までに100万トンに削減するという目標を掲げ、様々な取組を行っています。

今回は、それらの取組のうち、川崎市次世代自動車の普及に向けた充電インフラ整備の考え方の策定、共同住宅向けEV用充電インフラ補助金の創設、宅配ボックスの設置について、ご紹介します。

## 「川崎市次世代自動車の普及に向けた充電インフラ整備の考え方」を策定しました

これまで本市では、川崎市地球温暖化対策推進基本計画やかわさきカーボンゼロチャレンジ2050等に基づき、次世代自動車の普及に向けた取り組みを進めてきました。

国の動きや電気自動車（EV）等を取り巻く環境の変化などに対応し、普及を加速させるためには、現状を把握し、取組を計画的に進めていく必要があるとともに、市民が安心してEVに乗り換えられるようにするためには、充電インフラ環境の充実が欠かせません。

そこで、市域におけるインフラ環境を整備していくための基本的な考え方を、「川崎市次世代自動車の普及に向けた充電インフラ整備の考え方」として取りまとめました。



詳細はこちら



## 設置するなら、今がおトク！ ～共同住宅向けEV用充電インフラ補助金創設～

EVを普及させることで、地球温暖化の抑制や大気環境の改善につながります。

今後、EVの普及が想定される中、共同住宅にとっては、EV用充電設備が設置されることで、資産価値の維持や向上につながるとともに、空き駐車場の有効活用になるといったメリットもあります。

EVの普及にとって前提となる、充電に不安がない状況の実現を目指し、このたび、共同住宅向けEV用充電インフラ補助金を創設しました。

詳細はこちら



### 補助制度の概要

まずは国補助を申請！

補助対象設備	①普通充電器、充電スタンド ②充電コンセント
補助上限額	①23万円 ②12万円（5基まで）
補助額	設置費用合計から国補助を除いた額の3/4
補助対象者	共同住宅の管理組合・所有者 カーシェア事業者、リース会社等

## 宅配便をできるだけ1回で受け取りましょう

宅配便の再配達のためにトラックが走行することにより、全国で年間42万トンのCO<sub>2</sub>が排出されており（国土交通省調査結果）、環境負荷の増加につながっています。

市では、運輸部門の脱炭素化を推進するため、再配達の抑制に向けて、民間事業者（Packcity Japan株式会社）と連携し、次の4区役所にオープン型の宅配ボックス（PUDOステーション）を設置していますので、ぜひご利用ください。



令和5年3月に新規設置

区役所	設置場所	利用可能時間
幸区役所	1階・北側入口付近	24時間
宮前区役所	1階・入口付近	
多摩区役所	1階・市民館側入口付近	
麻生区役所	3階・駅連絡通路側入口付近	

PUDOステーションの利用方法や設置場所はここらを確認



幸区役所

問い合わせ：環境局地域環境共創課 TEL 200-2530 FAX 200-3921

### お知らせ

## 第2回かわさきSDGsランドを開催します！

川崎フロンターレのホームゲームと同日開催で、等々力緑地にて楽しくSDGsを楽しく体験できるイベント「かわさきSDGsランド」を開催します！ごみの分別を楽しく学べるキックターゲットや火を使わないエコ気球など、SDGsを体験しながら学べる催しものが満載です。

- 日時** 4月15日（土）11時～14時30分  
（荒天中止）  
※同日川崎フロンターレ公式戦  
（vs名古屋グランパス戦15時キックオフ）
- 会場** 等々力陸上競技場  
（場外イベント広場フロンパーク）
- 共同主催** 川崎フロンターレ、富士通(株)川崎工場  
（公財）川崎市公園緑地協会  
川崎市（総務企画局、環境局、中原区役所）



イベントイメージ（令和4年度の様子）

問い合わせ：環境局脱炭素戦略推進室 TEL 200-3871 FAX 200-3921



募集

## 第26期 川崎市地域環境リーダー育成講座（基礎編）受講生を募集します

川崎市の環境行政を知るとともに、環境問題の現状や課題などを学ぶ講義や、環境保全活動を実践する上で必要なコーディネート能力の習得を目指したグループワーク等により、環境学習活動や環境保全活動を率先して行う方々を育成する講座です。講義や見学などを通して、学びながら考え、行動してみませんか？一部の講座はオンライン受講も可能です。地域での環境保全活動やSDGsに関心のある皆様のご参加をお待ちしています！

**日時** 令和5年6月4日、25日、7月9日、23日（各回とも日曜日、全4回）、10時～16時30分

**場所** 高津市民館（JR武蔵溝ノ口駅北口／東急溝ノ口駅東口 徒歩2分 ノクティ2の11階）

**定員** 20名（原則毎回参加できる市内在住又は在勤、在学の18歳以上の方）

※応募多数の場合は抽選

**申込** 右の専用申込フォームからお申し込みください。

または区役所等で配布しているチラシの受講申込書に必要な事項をご記入の上、郵送・FAXでお送りください。  
〒210-8577 川崎区宮本町1番地 環境局企画課

**申込期間** 令和5年4月3日～5月12日【消印有効】



申込フォーム

9月～10月には実践編（全4回）を開催します！  
基礎編との同時申込も可能です

問い合わせ：環境局企画課 TEL 200-2387 FAX 200-3921

お知らせ



## かわさきプラスチック循環プロジェクト

川崎市では、プラスチック資源循環に向けて、市民、事業者、行政のあらゆる主体が積極的に取り組むためのプラットフォームとして「かわさきプラスチック循環プロジェクト」を令和4年4月に設立しています。設立当初の6社から新たに3社（グループ会社含む）が参画しましたので、事業者と取組をご紹介します。

## 【JR東日本】（令和4年8月参画）

- 川崎市内南武線の各駅（川崎駅から稲田堤駅間）から排出されるペットボトルをグループ会社の（株）JR東日本環境アクセスを通じて、市内リサイクラーへ持ち込み、水平リサイクルを推進
- 自動販売機横リサイクルボックスや駅構内などへポスター掲出など普及啓発に取り組み、更なる資源循環を促進

## 【富士通川崎工場】（令和5年3月参画）

- 富士通（株）川崎工場の事業所から排出されるペットボトルを、自社で管理し、本プロジェクトに参画している市内リサイクラーを通してペットボトルの水平リサイクルを推進
- 川崎市と富士通（株）による脱炭素社会実現に向けた実証実験のために開発されたアプリを活用し、社員のペットボトルキャップの分別など環境行動を促します。



詳しくは  
市ホームページ

問い合わせ：環境局廃棄物政策担当 TEL 200-2564 FAX 200-3923

お知らせ



## 今後の環境情報の発行について

環境情報は、次号よりホームページ上でご覧いただける、web版として発行します。

## 電子化のメリット

- いつでも、どこでも環境情報が読めます
- スマホやタブレットでも読みやすくなります
- フルカラーとなり、ページ数の制限がない、より充実した情報入手できます
- リンク先へ簡単にアクセスできます



ココをクリック！

今後は川崎環境ポータルサイト内に開設した環境情報のページにより、webサイト上で公開します。4月号（本号）より、試行的にページを公開していますので、こちらの二次元コードよりご覧ください。



問い合わせ：環境局企画課 TEL 200-3720 FAX 200-3921

月一  
データ

## 浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(2023年2月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場において、敷地境界の空間放射線量（ガンマ線）及び内水の放射能濃度（放射性セシウム濃度）について測定を行っています。2月の測定結果は次のとおりです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

	測定値	測定日	基準等	測定頻度
空間放射線量 (単位: $\mu\text{Sv/h}$ )	0.03 ~ 0.04 $\mu\text{Sv/h}$	2月7日~2月28日	国の基準値 0.23 本市の目安値 0.19	週1回
埋立処分場内水 (単位: Bq/L)	3.6Bq/L	2月6日	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	月1回

●詳しくは市ホームページをご覧ください。



問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923

月一  
データ

## 大気環境 (2023年2月)

- 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>): 一般局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。自排局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。
- 浮遊粒子状物質 (SPM): 一般局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。自排局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。
- 微小粒子状物質 (PM<sub>2.5</sub>): 一般局は全局で日平均値が35  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。自排局は全局で日平均値が35  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。

		二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )			浮遊粒子状物質(SPM)			微小粒子状物質(PM <sub>2.5</sub> )			
		月平均値 (ppm)	日平均値が0.04ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppm以下の日数割合(%)	月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	環境基準を超過した日数(日)	環境基準に適合した日数の割合(%)	月平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した日数(日)	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の日数割合(%)
一般環境大気測定局	大 師	0.018	0	0	100	0.010	0	100	8.4	0	100
	田 島	0.019	0	0	100	0.012	0	100	11.7	0	100
	川 崎	0.018	0	0	100	0.009	0	100	10.5	0	100
	幸	0.017	0	0	100	0.010	0	100	8.1	0	100
	中 原	0.016	0	0	100	0.010	0	100	8.4	0	100
	高 津	0.016	0	0	100	0.012	0	100	11.2	0	100
	宮 前	0.015	0	0	100	0.011	0	100	8.4	0	100
	多 摩	0.014	0	0	100	0.009	0	100	7.5	0	100
	麻 生	0.012	0	0	100	0.010	0	100	7.6	0	100
	平均	0.016	—	—	100	0.010	—	100	9.1	—	100
自動車排出ガス測定局	池 上	0.031	5	0	100	0.013	0	100	8.9	0	100
	日 進 町	0.018	0	0	100	0.011	0	100	8.6	0	100
	富士見公園	0.021	1	0	100	0.011	0	100	11.6	0	100
	遠 藤 町	0.025	4	0	100	0.012	0	100	----	----	----
	中原平和公園	0.018	0	0	100	0.011	0	100	8.6	0	100
	二 子	0.026	3	0	100	0.012	0	100	11.7	0	100
	宮前平駅前	0.020	0	0	100	0.012	0	100	10.2	0	100
	本 村 橋	0.017	0	0	100	0.011	0	100	7.3	0	100
	柿 生	0.016	0	0	100	0.009	0	100	8.6	0	100
	平均	0.021	—	—	100	0.011	—	100	9.4	—	100

注1：本データは最終確定値ではありませんので、後日修正することがあります。

注2：本表中のSPMにおける環境基準評価は、当月の測定結果について短期的評価を行ったものです。

### 環境基準

- 1 二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
- 2 浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下
- 3 微小粒子状物質：1年平均値が15  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が35  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

●詳しい測定データは、市のホームページまたは下記までお問い合わせください。

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-10-2-1-0-0-0-0-0.html>



問い合わせ：環境総合研究所地域環境・公害監視担当 TEL 276-9096 FAX 288-3156

公害病被認定患者数1,124人  
(認定者総数6,056人—認定失効者数4,932人)  
認定失効者数4,932人  
(治癒等2,103人+死亡者数2,822人)  
令和5年2月末現在 (健康福祉局)

発行編集  
川崎市環境局総務部企画課  
電話 044 (200) 2386 (直通)  
E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp

